

2024年6月26日

学校法人三幸学園
大宮スイーツ&カフェ専門学校
校長 岩崎 和友 殿

学校関係者評価委員会
委員長 古泉 元気

学校関係者評価委員会実施報告

2023年度学校関係者評価について、下記のとおり評価結果を報告します。

記

1 学校関係者評価委員

- ① 長山 慎太郎 (有限会社ヒューマンカウンシル 代表取締役)
- ② 金子 葉子 (在校生 保護者)
- ③ 古泉 元気 (第7期卒業生)

2 学校関係者評価委員会の開催状況

2024年6月19日 (会場 大宮スイーツ&カフェ専門学校 202号室)

3 学校関係者委員会報告

以下「自己評価・学校関係者評価報告書」に学校関係者評価委員会コメントとして記載

以上

2023年度 学校法人 三幸学園 大宮スイーツ&カフェ専門学校 自己評価及び学校関係者評価報告書

自己評価報告責任者：副校長 寺澤 正典

学校関係者評価報告責任者：学校関係者評価委員会委員長 古泉 元気

1. 学校の教育目標

学園のビジョン「人を活かし、日本をそして世界を明るく元気にする」、ミッション「人を活かし、困難を希望に変える」のもと、製菓・調理分野の学校として「美味しくてかわいいスイーツとカフェを通じて日本を明るく元気にする」というビジョンを掲げている。

また「技能と心の調和」を教育理念とし「素直な心、感謝の気持ち、高い意欲を持ち続け、自ら考え、自ら行動することで、社会に貢献する人材」、製菓・調理分野として「美味しくてかわいいスイーツとカフェを通じて、時間と空間をトータルプロデュースし、人の心を豊かにする人材を育成する」を人材育成像とし、専門学校として社会・業界に求められる人材の育成を進めている。

2. 前年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

① 前年度重点施策振り返り

1) 学園のミッション・ビジョンの実現を目指す。また目指す人材育成像の見える化を強化し、教職員・生徒保護者が同じ方向を向き成長できるようにする。

⇒成長ストーリーの作成とポスター掲示を実施。

ホームルームにて各時期に現時点と到達点の確認を実施。

2) 社会貢献、地域貢献の積極的な取り組み。

⇒大宮アルディージャと連携した地域貢献、マクドナルドハウスボランティアを通じて社会貢献を強化。

⇒運営面でのエネルギーコストの削減・食品ロスの軽減に積極的な取り組みを行う。

3) 就職活動情報を、より一層生徒に的確に提供し、就職先とのマッチングを向上させ、離職率の低減を行う。⇒適正な就職情報アプリの提供を行い、ホームルーム等で企業研究を充実させる。

3.評価項目の達成及び取組状況

(1)教育理念・目標

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか(専門分野の特性が明確になっているか)	4
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	3
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3

① 課題

・生徒への浸透は進んでいるが、保護者周知も更に強化していく必要がある。

② 今後の改善方策

- ・新入生保護者会を年度初めに対面で実施した。
- ・ホームルームでカリキュラムマップを使用し、定期的な確認を継続した。

③ 特記事項

・なし

④ 学校関係者評価委員会コメント

古泉委員長:素直な心の延長部分である傾聴力がとてもあり、リアクションができている生徒が多い印象がある。心の不安定・対面での対応力がない生徒もいる為、ケアが重要である。

長山委員:現場では料理を通して教育理念などを思い出すこともある。SNS を通して活気がある生徒の様子を見ることができるのでとても分かりやすい。

金子委員:生徒は、これまで受けてきた中等教育よりも専門的な経験が多くなり、成長を感じている。

寺澤副校長:新しい取り組みとして新入生保護者会を開催し、ご家庭でも専門教育の協力をお願いしたい。

(2)学校運営

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
人事、給与に関する制度は整備されているか	4
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	3
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

① 課題

- ・システムツールの使い分けを明確にしていく必要がある。
- ・授業で使用する材料発注について、決済権限を明確にしていく。

② 今後の改善方策

- ・Google classroom をクラス連絡ツール、Sanko Gate を全体共有ツールとして使用する。
- ・リーダーが定期的な材料発注状況を確認・管理する。

③ 特記事項

- ・なし

④ 学校関係者評価委員会コメント

古泉委員長:自社においても SNS を活用して、シフトや連絡事項を共有している。期限がついているものに関してリアクションがないことがあり、多様化するシステムツールを整理し、文面での明確なやり取りを行う必要があることを実感している。

長山委員:当社も同様だが、よい業務を行うためには、常に労働環境を整える努力が必要である。

金子委員:学校の機材等は、常に整備され、使いやすいと聞いている。学校運営において毎年見直し、維持してほしい。(オープンなど)

寺澤副校長:教員の情報共有の効率化について、毎年の課題として認識している。

今後の課題は、情報伝達・機材/材料管理をシステム化して、より良い生徒育成環境を整えることである。

(3)教育活動

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
目標の設定として、教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	3
授業評価の実施・評価体制はあるか	4
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4
資格(免許)取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保し、組織できているか	4
関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	3
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3
職員的能力開発のための研修等が行われているか	3

① 課題

- ・インターンシップへ行くことに対して前向きでない生徒が増えている。
- ・多様化する生徒の人材育成方法が確立されていない。

② 今後の改善方策

- ・インターンシップの動機付け方法を再検討し、任意制とする。
- ・多様化する生徒の理解を高める研修を実施する。あわせて、人員配置の見直しを行う。

③ 特記事項

- ・なし

④ 学校関係者評価委員会コメント

古泉委員長：学校の実習だけで就職先を判断せず、色々な現場でインターンシップを行い、可能性にチャレンジしてほしい。

長山委員：多様化だからこそ個性を活かしつつ、一緒に進路を考えていく必要がある。

金子委員：インターン実習での学びは多くあった。異なる世代の方々と一緒に働く経験は貴重だった。受け入れてくれる企業が少ない印象である。地域やエリアごとに学校と関わりがある、提携しているなど明確な事前情報共有が必要だ。

寺澤副校長：インターン実習を任意参加へ変更した。多様化する学生の指導・対応方法を検討している。

(4)学修成果

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
就職率の向上が図られているか	3
資格(免許)取得率の向上が図られているか	3
退学率の低減が図られているか	3
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3

① 課題

- ・就職決定時期が後ろ倒し傾向にあり、就業意欲低下が見受けられる。
- ・技術資格修得率の低下。

② 今後の改善方策

- ・就業意欲の低下理由を把握し、就業へ向けて意識づけする機会を複数回設ける。
- ・できている、できていないを明確に提示し、自己判断でできていると感じさせないような指導を行う。

③ 特記事項

- ・なし

④ 学校関係者評価委員会コメント

古泉委員長:インターン実習前に予め内容を確認して取り組み、就職する準備として役立ててほしい。

長山委員:自分に、どのような就職先があっているかわからない生徒が多い。就職したら何がしたいか・誰にありがとうと言われたいかを想像することが大切である。

金子委員:【パティシエ・カフェ・ブーランジェ・スイーツカフェクリエイター】の4分野から選べるので就職の幅が広がる。ホテル・ケーキ屋・パン屋 etc.

一日職業体験ができると就職のイメージが広がるのではないか。(卒業生採用がある所など)

栗原さん:やりたいことが見つからないという生徒が多い。就業意欲の低さが課題である。技術の修得率が下がっている。生徒自身が想像で、できる・できないを判断していることが課題だ。

(5) 学生支援

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
学生相談に関する体制は整備されているか	4
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3
課外活動に対する支援体制は整備されているか	3
学生の生活環境への支援は行われているか	4
保護者と適切に連携しているか	3
卒業生への支援体制はあるか	4
中途退学者への支援体制はあるか	3
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4

① 課題

- ・就職情報提供方法の改善
- ・インターンシップ制度の時期
- ・卒業後の開業独立支援の周知方法

② 今後の改善方策

- ・専用アプリなどによる就職情報共有。
- ・インターンシップ選択単位修得の為、春季に絞り指導する。
- ・同窓会(HCD)開催の頻度を上げ、母校の情報をより、頻繁かつ多く伝える。

③ 特記事項

- ・なし

④ 学校関係者評価委員会コメント

古泉委員長：担任制は先生に相談しやすかった。コロナ禍に入り同級生との集まりがなかったのでホームカミングデイ(同窓会)は卒業生の情報交流の場として有効だ。

長山委員：生徒と教員の連携はできている。より良い就職情報の提供が必要だ。

(6)教育環境

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3
学内外の実習施設,インターンシップ,海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3
防災・安全管理に対する体制は整備されているか	3

① 課題

- ・危機管理マニュアル等を使用した定期的な訓練が実施できていない
- ・生徒が希望するインターンシップ先を確保することが困難であった

② 今後の改善方策

- ・定期的な訓練の実施。
- ・インターンシップの条件をまとめ、事前に受け入れ可能先を確保しておく。

③ 特記事項

- ・なし

④学校関係者評価委員会コメント

栗原さん:有給インターンシップは受け入れの難しい企業が多い。無給インターン実習の場合、納得のいくプログラムが企業に必要なだ。早々にリサーチをして情報を提供する。

(7) 学生の受入れ募集

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学生募集活動は、適正に行われているか	4
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
入学選考は、適性に行われているか	4
学納金は妥当なものとなっているか	4

① 課題

・入学後のギャップを生まないような教務と広報の連動が必要だ。

② 今後の改善方策

・入学前のプレスクールの実施を行う。

・授業担当者へ広報活動の内容(どのように募集をかけているのか)を共有する。

③ 特記事項

・なし

④ 学校関係者評価委員会コメント

・特になし

(8)財務

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
財務について会計監査が適正に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4

① 課題

【中長期計画】

なし

【予算・収支計画】

なし

【会計監査】

なし

【財務情報の公開】

なし

② 今後の改善方法

【中期計画】

今期は第3次中期計画(2023 年度～2027 年度)の初年度であり、ホームページ上に公開している。今後は当該計画の達成状況等についても公開予定である。

【財務情報の公開】

なし

③ 特記事項

なし

④学校関係者評価委員会コメント

・特になし

(9) 法令等の遵守

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
関係法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	3
自己評価結果を公開しているか	4

① 課題

- ・自己評価の改善への未着手がある。
- ・更なる法令順守の推進。

② 今後の改善方策

- ・改善点を教員会議にて共有し、研修を行い、改善を図る。
- ・会議や掲示板等を活用し、全ての教職員が法令順守できるよう継続的に働きかける。

③ 特記事項

なし

④ 学校関係者評価委員会コメント

古泉委員長:コンプライアンスを問われる時代のため、教員の皆さんにはより一層の自覚を促してほしい。

(10)社会貢献・地域貢献

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4

① 課題

- ・社会貢献、地域貢献の取り組みについて生徒へ周知する。
- ・既存の社会貢献活動の見直しをする。

② 今後の改善方策

- ・年間行事として社会貢献・地域貢献に取り組み、生徒に早い段階で周知する。取り組みを深める。
- ・時期などをもう一度見直し、適切な実施時期に行えるように準備する。

③ 特記事項

- ・なし

④ 学校関係者評価委員会コメント

金子委員：大宮アルディージャと連携した取り組み（招待客へのオリジナル焼き菓子提供）は、社会貢献と地域貢献として素晴らしい。

(11)国際交流(必要に応じて)

【評価項目】(評価=適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1)	評価
留学生の受入れ・派遣について戦略を持って国際交流を行っているか	3
受入れ・派遣、在席管理等において適切な手続き等がとられているか	4
学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	3
学内で適切な体制が整備されているか	3

① 課題

- ・多様化する留学生の受け入れ態勢を確立をすること。
- ・留学生の就職先を開拓すること。

② 今後の改善方策

- ・教員に外国人特定技能ビザ取得方法の共有を行う。
- ・教員が企業訪問を行う際、留学生の求人と受け入れ態勢を聞き取る。

③ 特記事項

- ・なし

④ 学校関係者評価委員会コメント

長山委員:多様性を受け入れる時代となり、留学生も多くなったため、これからは柔軟な対応が必要だ。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

2023 年度において、本来大宮スイーツ&カフェ専門学校としてあるべき教育の体系を意識し、日々学校運営に取り組んできたが、より一層の教育成果をあげる事が出来なかった。

2024 年度は下記を重点的に取り組んでいく。

- 1) 学園のミッション・ビジョンの実現を目指す。また、人材育成像の見える化を引き続き行い全員が同じ方向を向き成長できるようにする。
- 2) 業界ニーズに沿った人材育成を実施する。
- 3) 卒業後に活かせるキャリア育成や社会人基礎力の向上を図る。